市民の皆様へのお願い

ブロック塀等の安全点検をしましょう！

平成30年7月　横浜市建築局建築指導部

■お知らせ

平成30年6月18日に大阪府北部を震源とした震度6弱の地震が発生し、小学校のプールのブロック塀が倒壊し、通学途中の児童が死亡する痛ましい事故が発生しました。

基準に適合しない塀は、地震の際に容易に倒れ、道路をふさぐ等避難や救助・消火活動の妨げになるだけではなく、人命を奪うこともあります。

このたび事故が発生した学校のブロック塀に限らず、**ご自身が所有しているブロック塀等についても注意が必要です。**ブロック塀が倒壊して事故が発生した場合、所有者がその責任を問われる可能性がありますので、ご自身が所有しているブロック塀等の安全点検を行い、災害に備えましょう。

■既設のブロック塀等の安全点検について

ご自身で所有しているブロック塀等に関して、国土交通省において作成された裏面のチェックポイントを基に安全点検を行いましょう。

■点検結果について

チェックポイントによる安全点検の結果、1～5のうちひとつでも不適合がある場合※や分からないことがある場合には、**専門家に相談し対策を検討しましょう。**対策を取るまでの間は、速やかに付近通行者への注意表示等を行いましょう。

※構造計算によって安全性が確かめられた場合はこの限りではありません。

■専門家への相談先

本市からは、専門家や業者の紹介はしていませんが、ブロック塀の施工業者や専門家がいない場合には、下記の関係団体等のご連絡先を参考にしてください。

○建築士や建築士事務所等へのご相談

団体名	連絡先	ホームページ
（公社）日本建築家協会関東甲信越支部	電話：03-3408-8291	http://www.jia-kanto.org/

○ブロック塀に関する診断のご相談

（公社）日本エクステリア建設業協会	—	https://jpex.or.jp/shindansi

○上記のほか、住宅（塀を含む）のご相談

（公財）住宅リフォーム・紛争処理支援センター	電話：「住まいるダイヤル（0570-016-100）」	https://www.chord.or.jp/

参考

○国土交通省ホームページ

建築物の既設の塀（ブロック塀や組積造の塀）の安全点検について（国土交通省HP）

http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/blockshei

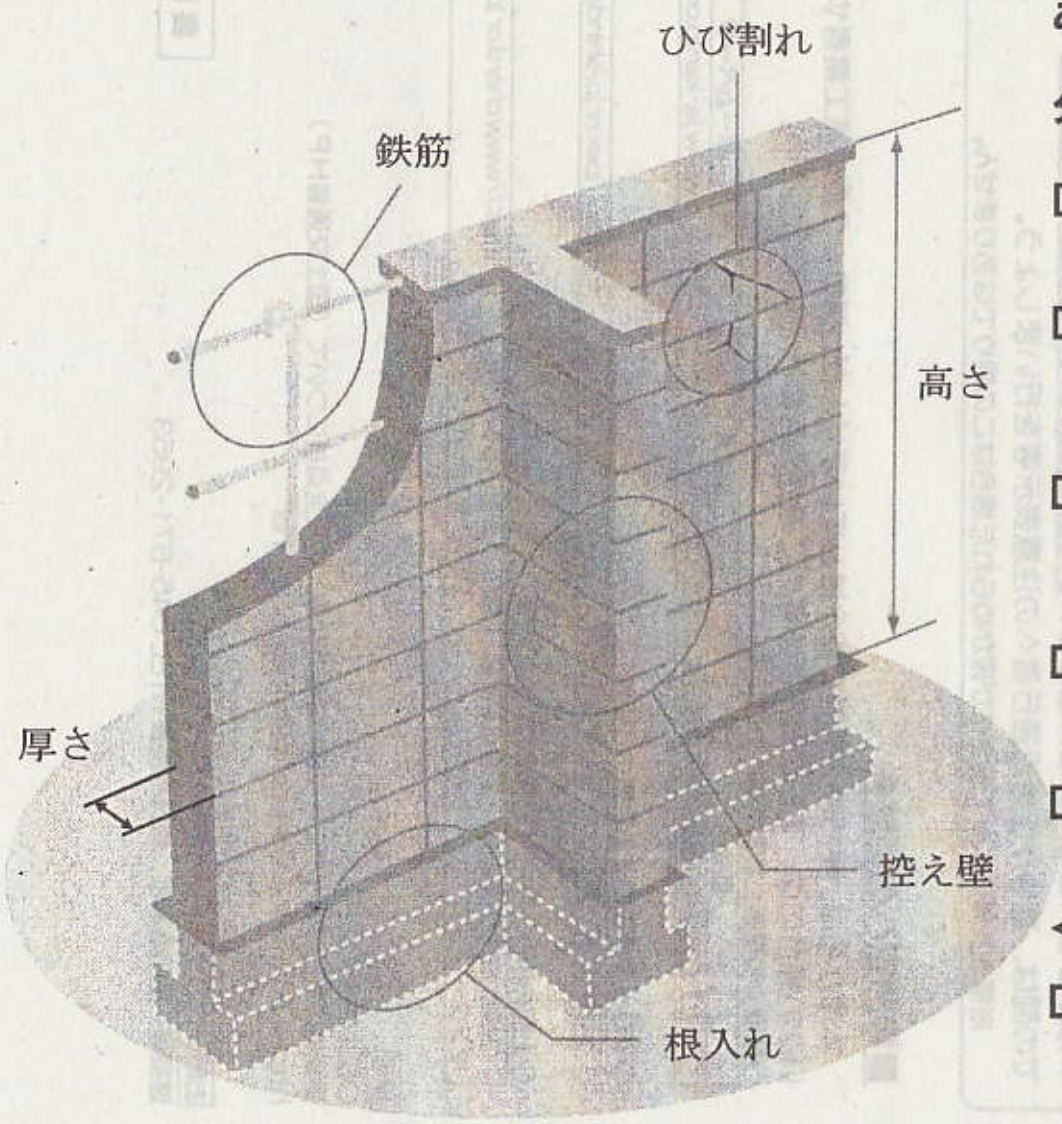
お問い合わせ先

建築局　建築指導部　情報相談課　TEL 045-671-2953

裏面あり

ブロック塀の点検のチェックポイント

国土交通省



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。
まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

□ 1. 塀は高すぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）

□ 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

□ 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。

□ 5. 塀は健全か
・塀に傾き、ひび割れはないか。

＜専門家に相談しましょう＞

□ 6. 塀に鉄筋は入っているか
・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合
□ 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
□ 2. 塀の厚さは十分か。
□ 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
□ 4. 基礎があるか。
□ 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

＜専門家に相談しましょう＞
□ 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

出典：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改